

令和6年 大山崎町議会 第1回定例会

## 一般質問通告書

1. 波多野 底砂
2. 西田 光宏
3. 井上 博明
4. 徳本 修司
5. 小畠 孝信
6. 島 一嘉
7. 堀内 古比呂
8. 山中 一成
9. 井上 治夫
10. 辻 真理子
11. 朝子 直美

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（①-1/2）

質問者	波多野 底砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	
<p>1. 中長期財政計画を踏まえた令和6年度当初予算編成について</p> <p>中央公民館の再構築問題については、既に時間の経緯と共に環境の激変に伴うさま変わりであり、建設費についての町長部局の説明は、町長1期目となる令和元年からの4年間については、坪単価が89万円～135万3,000円。翌令和5年頃から議会毎の報告では、どんどん上昇の記録となる態で、令和6年1月25日付での坪単価を、配付資料では、なんと226万6,800円とした。</p> <p>【まとめ】</p> <p>町長の1期目で着手していれば、 建設面積延1,058.75坪（3,500m<sup>2</sup>）×坪単価135万3,000円 総建設費14億3,249万円で既に完成していたはず。</p> <p>対して、2年後の今、同条件、算定の基準と同じとして、 建設面積延1,058.75坪（3,500m<sup>2</sup>）×坪単価226万6,800円 総建設費24億円として説明した。</p> <p>【結論】</p> <p>その差、約10億円の値上がりであり、税金をドブに捨てるのと同じとなる。1期目と2期目の現時点も含め、前川光共産与党町長の政治姿勢についても問う必要がある。</p> <p>（1）中央公民館の再構築についての今までの経緯は、令和5年3月議会で、いきなり公民館から図書館もどき案に変更。 説明不足、生煮え、かつ、必要資金面について、いまいち不明な状況のまま。さらには、ゼネコンバブルの世相の噂・大阪万博のゼネコン需要は既に大阪西梅田大開発は超高層・超拡大。 なお、石川・能登半島地震被害の復興に、多くの建設資材、特に砂・鋼材・職人・技術員が逼迫の態で、確かにゼネコン系については、当方としてもさらに50%アップ等々の想定で、ドブへの資金流出増となりかねず。仮に契約は当事者の自由の原則として、</p>	町長	

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（①-2/2）

質問者	波多野 底砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項		答弁を求める者
必要資材等々の項目について必須となれば、全て完成しないと支払う資金が確定せず、さらなるドブへの資金流失リスクの想定で、当方個人としては、今やるべきではない旨、全町民の資産を守るためにと考える。  町長の現状での判断を問う。  ※なお、係るテーマについては、既に執行部により説明は終えている。したがって、議場において同様の重複となる答弁・説明は貴重な双方の時間の無駄である。効率アップを求める。		

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（②-1/1）

質問者	西田光宏（大山崎クラブ）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 町長の政治姿勢について		町長
	令和5年第4回定例会で可決した委員会提出議案第4号「大山崎町議会基本条例の一部を改正する条例」に示した町長による政策形成過程等の考え方を問う。	
2. 中長期財政計画を踏まえた令和6年度予算案について		町長
(1)	地方交付税増加の理由と将来における町財政の見通しを問う。	
(2)	昨年、議会において関連事業費を削除した姉妹都市提携事業に関する、なぜ本年度当初予算案に計上されているのか。	
(3)	国際交流関連事業委託料が計上されているが、目的と内容、また姉妹都市提携事業や英語教育との関連性を問う。	
3. 安心・安全なまちづくりについて		町長
(1)	当町の防災・減災対策に関する町長の考え方を問う。	
(2)	町基金の取り崩しが進む中、災害復旧等に対して充てる基金の状況と今後の考えを問う。	

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（③-1/1）

質問者	井上博明（是々非々の会）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 大山崎町第4次総合計画の後期基本計画について		町長
(1) 「26のまちづくり分野」ごとに示した数値による施策の成果目標の目標値（令和7年度）に対し、達成値の低い施策はどの分野か。		
(2) 目標値達成の今後の対策について問う。		
2. 中長期財政計画を踏まえた令和6年度予算編成について		町長
(1) 町内大手企業の減収による町財政の変化をどのように考えているのか。		
(2) 昨年末以降、町内大手企業の状況を鑑み、町長はどのような行動、対応をしたのか。		
(3) 現行バス路線に代わる地域公共交通の再構築が検討されつつある。その地域公共交通維持にかかる費用はどの程度か。どの程度の費用なら実施するのか。		
(4) 歳入増加を計る必要があると考える。そのために実施する施策は何か。		
(5) 令和6年度当初予算編成の基本方針に「スクラップアンドビルドを基本とする」と明記されている。予算編成においてスクラップされた部分、すなわち既存事業において見直した事業は何か。また、その経済効果はどの程度か。		

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（④-1／1）

質問者	徳本修司（れんごう大山崎）	
質問事項		答弁を求める者
1. 中長期財政計画を踏まえた令和6年度予算編成について  (1) 今後の財政計画で、見通しが悪くなると想定される中、本町の自主財源を増やすための施策はあるのか。  (2) 議会において一度修正削除した中学校給食無償化をなぜ進めるのか。		町長
2. 本町の地震対策について  (1) 今回の能登半島地震を受けて、行政としての所感は。  (2) 今後どのようなところを重点に地震対策を推進していくのか。		町長

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑤-1/2）

質問者	小畠 孝信（公明党）	
質問事項	答弁を求める者	
<b>1. 中長期財政計画について</b>		町長
(1) 令和9年度に財政調整基金残高が0になり、令和12年度に減債基金残高が0になる計画で、どのように町財政を行っていくのかとの質問に対して、町長は「自己努力する。頑張って行く。毎年考えて行く。効率的な行政歳出削減に努めて参ります。」と答弁されている。		
また、今年度予算編成の基本方針の中で「先の見通しは厳しい」と発言されている。令和15年までに財政を立直し、健全な町財政にするために歳入を増やす施策をどのように講じる考えか。		
(2) 子育て世代に選ばれる町にするために新規事業を行う必要はあると考えるが、中長期財政を見据えた具体的な歳出削減施策をどのように講じる考えか。		
<b>2. 通学路整備工事（鳥居前配水池場内通路整備工事）について</b>		町長 教育長
(1) 令和6年度一般会計予算の教育費・学校管理運営経費で通学路整備工事を1,035万8,000円で計上しているが、通学路の整備・新設は、今後全ての工事を教育費で行う予定か。		
(2) みやびヒルズから第二大山崎小学校への現状の通学路は、令和5年に町で防犯灯を設置し、道の環境を改善したにもかかわらず使用しない理由は何か。		
(3) 予算の根拠となる通路・階段の仕様はどのようにになっているのか。		
(4) 配水池場外の東側階段通学路の整備計画はどう進める方針であるか。		
(5) 令和5年度一般会計予算で、議会において修正削除した通学路整備工事（鳥居前配水池場内通路整備工事）は、大山崎町議会基		

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑤-2／2）

質問者	小畠 孝信（公明党）	
質問事項		答弁を求める者
本条例（町長による政策形成過程等の説明）に基づく説明を行うことなく、令和6年度予算に計上したのか。		
<b>3. 地震災害への対応について</b>		町長
能登半島地震における被害を振り返ると、生命・生存・生活を守ることを最優先にして整えるべきであると強く感じた。  (1) 「自助」に対する備え（水・食事・簡易トイレ等）を行う世帯に補助金を出すべきであると考えるがいかがか。  (2) 「共助」について、令和4年12月の一般質問で地域コミュニティの必要性について質問したが、答弁は「自主防災組織に対しましては、大山崎町自主防災活動補助金を交付しております」であった。  補助金の活用は、その後増えているのか。		

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑥-1/1）

質問者	島一嘉（安心）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 令和6年度当初予算編成方針について		町長
(1) 令和6年度当初予算編成方針では、「令和4年度の決算や財政指標の状況に限ると、本町の財政状況は良好」、今後は「持続可能性が危ぶまれる厳しい状況にあると言わざるを得ない」としているが、その危機感を問う。		
(2) 「すべての事務事業の見直し」として、「すべての事業を改めてゼロベースから詳細に点検し」、「ムリ・ムラ・ムダの排除や不用残の検証を行う」としているが、結果を問う。		
2. 中長期財政計画を踏まえた令和6年度予算編成について		町長
(1) 中長期財政計画では、学校給食施設の地方債は令和8年度から元金償還が開始、複合施設の建設費と重なり財政調整基金を使い切る。令和9年度から3年は減債基金を使い、令和12年度からは、基金がなければ常に単年度収支がマイナスとなるが、要因をどのように考えるか。		
(2) バイオトイレの設置について、令和5年12月議会での町長答弁で、丁寧な説明に努めるとしたが、いかに実施したか。		
3. 道路改修について		町長
(1) 道路は、私道・町道・府道・国道と、それぞれ管理されている。居住性の向上には安全な道路環境が必須であり、町が所管する町道でも、緊急に整備が必要な道路や、何らかの事項により整備が進まない道路もある。どのように管理しているのか。		
(2) 具体的な整備計画が必要であるが、現実はどうか。		

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑦-1／1）

質問者	堀内 古比呂（日本共産党議員団）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 住宅の耐震について		町長
	<p>能登地震が起こり、住民から不安の声が寄せられている。円明寺が丘団地公社4階建てやテラスハウスなど、管理組合や自治会と相談しながら、耐震診断、コンクリート強度のサンプル調査を行ってはいかがか。</p>	
2. 災害への備えについて		町長
	<p>(1) ドローン操作ができる職員のさらなる育成や保有台数の増加に向け、どのような計画を持ち合わせているか。</p> <p>(2) 災害時に被害状況の確認だけでなく、ドローンによる救援物資の運搬なども視野に入れるべきだと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 道路が寸断された場合、移動手段として自転車が有効と考える。自転車の活用を考えているか。</p> <p>(4) 避難所となる小中学校の体育館へのエアコン設置は、災害時だけでなく、児童や生徒の熱中症対策としても必要と考えるがいかがか。</p> <p>(5) 災害時の空き家を原因とする被害への対応をどのように考えているか。</p>	
3. 水道の災害への備えについて		町長
	<p>(1) 浄水場、ポンプ場、配水池、水道管の耐震化の進捗状況を問う。</p> <p>(2) 災害時に、生活用水の確保として、地下水を利用できる状況にあるか。</p> <p>(3) 断水時には給水車が必要と思われる。購入すべきと考えるがいかがか。</p>	

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑧-1／1）

質問者	山中一成（大山崎クラブ）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 令和6年度予算編成について	中長期財政計画をどのように踏まえたのか。	町長
2. 国・府・各自治体・議会との協調、連携について	今回の予算編成に際して、町長は具体的にどのように国・府・各自治体・議会との調整を図ったのか。	町長
3. 庁舎内の「しんぶん赤旗」購読勧誘等について	(1) 庁舎内で特定政党の機関紙である「しんぶん赤旗」の購読勧誘、集金等が公然と行われている事実について、町長の認識は。 (2) 町職員の政治的中立性は保たれていると考えているのか。	町長

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑨-1／1）

質問者	井上治夫（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 前川町政が5年間で進めてきた施策について  (1) 子育て・教育に関わって進めてきた施策を問う。 (2) 高齢者に対して進めてきた施策を問う。 (3) まちづくりに関わって進めてきた施策を問う。 (4) コロナ禍や物価高騰の中、暮らし応援で進めてきた施策を問う。	町長	
2. 町の財政状況について  (1) 過去5年間の財政状況について、5年前の中長期財政計画状況と直近の実績とを比較してどのようにになっているかを問う。  (2) 令和4年度の経常収支比率は、予算では104.3%であったが、決算では87.9%となり、一般会計の基金残高は3億8,000万円増えて22億9,000万円となった。令和5年度予算では一般会計基金残高はマイナスと計画されていたが、現時点での状況と決算見込みを問う。  (3) 今後、少子高齢化や公共施設の整備、人件費の上昇などのため、全国の自治体で厳しい財政が予想されている。町の今後の財政状況を問う。	町長	
3. 物価高騰から住民の暮らしを守る施策について  日本共産党議員団による住民アンケートで、子育て世代からも高齢者からも、厳しい暮らしを応援してほしいという切実な声が寄せられている。暮らし応援の施策を問う。	町長	

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑩-1/1）

質問者	辻 真理子（日本共産党議員団）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 災害対策について	町長	
(1) 本町の木造住宅（昭和56年5月31日以前に着工された）の耐震化率を問う。また、耐震化緊急促進アクションプログラムに基づく進捗を問う。		
(2) 避難所の衛生環境の要となるトイレの確保を問う。		
(3) 町LINEに、「キキクル（危険度分布）」や、町内の河川の水位状況が把握出来るよう、防災の項目を充実してはいかがか。		
(4) 防災士、防災伝道師の方々の日頃や災害時の活動内容はいかがか。		
(5) 避難行動要支援者の個別避難計画の進捗、福祉避難所への受入れ対象者をあらかじめ特定することの進捗を問う。		
(6) 車での避難も想定した計画、訓練も必要と考えるがいかがか。		
(7) 災害対応において、女性の視点に立った防災体制づくりを国も促している。本町の担当職員、保健師、保育士等の体制について問う。		
2. 複合化施設について	町長	
令和6年2月7日の複合施設特別委員会にて、コストを抑えるため、延床面積を現基本設計4,000m <sup>2</sup> から3,500m <sup>2</sup> へ縮小との説明がされた。		
(1) 今後のスケジュールを問う。		
(2) 物価高騰によるコスト上昇はどのように見込んでいるか。		
3. 学校健康診断について	教育長	
1月22日、文部科学省が「児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について」通知した。		
本町の小中学校での学校健康診断の対応はいかがか。		

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問（⑪－1／2）

質問者	朝子直美（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 若い世代に訴求力のあるまちづくりについて  (1) 天王山、農地、里山の景観に、日常的に触れられる本町の自然環境は、若い世代にも大きな魅力である。農地の減少は、町の強みを失うこととの認識に立ち、対策をとるべきと考えるがいかがか。  (2) 移住を促進するには、住宅が大きなポイントになる。既存住宅を活用し、新陳代謝を図るサステイナブルな住宅政策をまちづくりの重点に位置づけるべきと考えるがいかがか。	町長	
2. 公共の役割を担う民間事業者との連携について  (1) 保育士の配置基準が76年ぶりに見直され、4～5歳児の基準が30対1から25対1となる。国では経過措置を認めているが、ただちに実施すべきと考える。町立、民間各保育所での対応はいかがか。  (2) 子育て応援の町として、町内の全ての保育所の保育士の配置を、より手厚くするための財政措置を図るべきと考える。まずは、各保育所の実情、要望を聞き取ることを求めるがいかがか。  (3) 来年度から、民間学童保育所が開設することで、保育所、学童保育所とともに、保護者にとって選択肢ができることとなる。いわゆる「保活」を支援するため、町、民間事業所の共催で、入所手続きや、それぞれの保育所、学童保育所の紹介をする説明会を行ってはどうか。  (4) 在宅介護を支える人材の不足は、本町においても例外ではない。保険者として事業者任せにせず、ともに、問題解決を図ることを求めるがいかがか。	町長 教育長	

令和6年大山崎町議会第1回定例会一般質問(⑪-2/2)

質問者	朝子直美(日本共産党議員団)	
質問事項	答弁を求める者	
3. 「子どもファースト」の学校に向けて  適応指導教室の名称を変更する自治体が増えている。子どもを学校に合わせようとするのではなく、一人一人の子どもに寄りそう学校であることが大切だと考える。教育長の見解はいかがか。	教育長	
4. 公民館、長寿苑の活性化について  新たな複合施設に向けて、「カフェコーナー」「中高生の居場所」の要望が強い。今の公民館や長寿苑においても取り入れるべきと考える。昨年の第3回定例会の一般質問で提案したが、新年度に向けての検討状況はいかがか。	町長	